

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [国語]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4 レベル (平均)	R7小5 レベル (平均)	令和6年度からの 同集団における 学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,875	62.8	5-B	6-B	3
貴教育委員会	11	729	59.8	5-C	6-C	3

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	12	74.9	72.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	4	64.6	62.0
	話すこと・聞くこと、書くこと	6	46.4	42.7
	読むこと	8	56.2	52.5
評価の観点	知識・技能	16	72.3	69.8
	思考・判断・表現	14	52.0	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	21	67.9	65.4
	短答式	8	51.8	47.3
	記述式	1	43.4	41.3

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話すこと・聞くこと、書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1	同じ読みの漢字を選択する	文脈に即して漢字を正しく読む	○				○						85.4	0.1	82.6	0.3	4-C
2	同訓異字の中から文脈に合うものを選択する	文脈に即して漢字を正しく使う	○				○						87.7	0.0	87.1	0.0	3-A
3	同音異義語の中から文脈に合うものを選択する	同音異義語の漢字を文脈に即して正しく使う	○				○						60.3	0.1	56.7	0.0	7-C
4	漢字の読み方が異なる熟語を選択する	熟語の中の漢字を正しく読む	○				○						72.6	0.2	69.0	0.3	5-A
5	いろいろな意味を持つ漢字の中で同じ意味で使われている言葉を選択する	多義語について異なる意味を理解する	○				○						72.4	0.1	68.9	0.0	6-B
6	文中の空欄に当てはまる適切な呼応の副詞を選択する	呼応の副詞を理解し、適切に使う	○				○						93.9	0.0	92.2	0.1	2-B
7	熟語の中から文脈に合うものを選択する	言葉の意味を理解し、適切に使う	○				○						91.8	0.1	90.3	0.1	2-A
8	反対の意味を持つ漢字を組み合わせた熟語になるように漢字を選択する	熟語の構成を理解する	○				○						47.8	0.7	46.0	0.8	7-A
9	文の主語と述語を抜き出して入力する	文の構成を理解する	○				○			○			36.8	2.8	32.0	4.3	8-B
10	被修飾語を選択する	修飾・被修飾の関係を理解する	○				○			○			73.9	0.2	70.8	0.4	6-B
11	指示語の示す内容を文中から抜き出して入力する	指示語の役割を理解する	○				○			○			80.2	2.4	77.5	4.0	4-A

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [国語]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,875	62.8	5-B	6-B	3
貴教育委員会	11	729	59.8	5-C	6-C	3

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	12	74.9	72.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	4	64.6	62.0
	話すこと・聞くこと、書くこと	6	46.4	42.7
	読むこと	8	56.2	52.5
評価の観点	知識・技能	16	72.3	69.8
	思考・判断・表現	14	52.0	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	21	67.9	65.4
	短答式	8	51.8	47.3
	記述式	1	43.4	41.3

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等			評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話すこと・聞くこと、書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	
12	適切な接続語を選択する	接続語の働きを理解する	○				○					95.4	0.1	95.3	0.1	2-C
13	漢字辞典の「総画さくいん」で調べるときに出てくる順に漢字を並べる	漢字辞典の使い方を理解する		○			○					57.0	1.6	55.3	2.1	7-C
14	慣用句が適切に使われている文を選択する	慣用句の意味を理解し、適切に使う		○			○					55.0	0.4	52.1	1.0	7-C
15	漢字の部首名を入力し、どんな意味に関係しているかを選択する	漢字の部首を理解する		○			○			○		55.9	1.5	48.6	2.5	7-C
16	書き直す前後の文字列を見て、書くときに注意した点を説明した文の空欄に当てはまる内容を選択する	漢字や仮名の大きさ、配列を理解する		○			○					90.3	0.2	91.9	0.4	3-C
17	前後の関係から、段落の順番を並べ替える	文章を書く上での文の構成を理解する			○		○					18.5	0.7	14.3	0.8	8-A
18(1)	文章中の指定された部分についての理由を述べている部分を選択する	考えとそれを支える理由の関係を理解する			○		○					35.3	0.5	32.9	0.5	8-A
18(2)	敬体・常体の不統一を直し、より良い表現に直して入力する	文を読み返し、より良い文にする			○		○			○		65.1	3.4	59.7	5.1	6-B
19(1)	筆者が述べている理由として適切なものを選択する	文章の内容を理解する				○	○					73.9	0.5	70.6	0.8	5-B
19(2)	文章中の記述を具体的に説明した文の空欄に当てはまる言葉を抜き出して入力する	事例に注目して文章の内容を捉える				○	○			○		41.9	4.9	38.7	6.0	8-B
19(3)	段落の役割をまとめた文に当てはまる言葉を選択する	段落相互の関係に注目して文章の内容を捉える				○	○			○		68.5	2.5	64.5	3.2	6-C
19(4)	文章の要旨に当てはまる言葉を抜き出して入力する	文章の要旨を理解してまとめる				○	○			○		40.7	9.0	36.4	11.8	8-B

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [国語]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,875	62.8	5-B	6-B	3
貴教育委員会	11	729	59.8	5-C	6-C	3

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	言葉の特徴や使い方	12	74.9	72.3
	情報の扱い方、我が国の言語文化	4	64.6	62.0
	話すこと・聞くこと、書くこと	6	46.4	42.7
	読むこと	8	56.2	52.5
評価の観点	知識・技能	16	72.3	69.8
	思考・判断・表現	14	52.0	48.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	21	67.9	65.4
	短答式	8	51.8	47.3
	記述式	1	43.4	41.3

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等			評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			言葉の特徴や使い方	情報の扱い方、我が国の言語文化	話すこと・聞くこと、書くこと	読むこと	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	
20(1)	登場人物の発言の根拠となる言葉を抜き出して入力する	登場人物の行動の理由を理解する				○	○		○			42.0	7.6	38.7	9.6	7-B
20(2)	登場人物が感じたことの対象を選択する	登場人物の心情とその対象を理解する				○	○		○			75.8	4.1	72.6	5.5	5-B
20(3)	登場人物の考えの理由として適当でないものを選択する	内容を理解し、登場人物の考えとその理由を理解する				○	○		○			55.0	4.6	52.1	6.0	6-A
20(4)	登場人物の発言をまとめた一文に当てはまる言葉を抜き出して入力する	登場人物の状況を把握し、行動の理由を理解する				○	○		○			51.8	11.5	46.8	15.9	7-B
21(1)	発表原稿の工夫を説明したものとして最も適切なものを選択する	聞き手の理解や注意を促すための、発表原稿の工夫を理解する				○	○		○			64.4	6.0	60.8	6.6	7-C
21(2)	発表原稿に欠けている内容を質問したものとして、最も適切なものを選択する	要点を理解しながら発表を聞き、欠けている内容を質問できる				○	○		○			51.5	6.8	47.3	8.1	8-C
21(3)	友達の意見を取り入れることで発表にどのような効果があるかを入力する	自分の意見を明確に書く				○	○			○		43.4	18.6	41.3	23.3	7-A

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,868	48.3	4-A	5-B	2
貴教育委員会	11	729	45.7	4-B	5-C	2

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	14	52.0	48.9
	図形	8	52.1	49.9
	変化と関係	6	36.1	34.8
	データの活用	4	46.5	42.1
評価の観点	知識・技能	18	50.5	46.7
	思考・判断・表現	14	45.6	44.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	19	49.1	47.6
	短答式	12	51.0	46.3
	記述式	1	1.0	0.4

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル	
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)		
1(1)	小数のたし算の計算をする	繰り上がりのある小数の加法の計算をすることができる	○				○				○			84.3	0.7	83.1	0.8	4-C
1(2)	帯分数のひき算の計算をする	同分母の分数の減法の計算をすることができる	○				○				○			59.2	1.8	58.0	3.4	5-A
1(3)	小数のかけ算の計算をする	乗数が整数である場合の小数の乗法の計算ができる	○				○				○			76.2	1.0	73.9	1.9	4-A
1(4)	余りのあるわり算を計算する	余りのある除法を計算できる	○				○				○			27.8	6.3	23.3	8.2	8-A
1(5)	( )を使った計算をする	四則の混合した式や( )を用いた式について正しく計算できる	○				○				○			58.7	1.9	50.2	3.8	5-A
2(1)	一億の位の数として適切なものを選ぶ	十進法の位取り記数法について理解している	○				○				○			90.7	0.3	88.2	0.7	3-C
2(2)	ある整数より小さい分数をすべて選ぶ	分数の大きさについて理解している	○				○				○			44.4	1.2	39.8	1.6	6-A
2(3)	人口の合計などを計算し、四捨五入して、概数にする	概数の意味や概数にする方法について理解している	○				○				○			33.5	4.1	29.6	7.5	7-B
2(4)	概数を用いて和を見積もり、代金の見当をつける	日常の場面において、数の処理の仕方について考えることができる	○					○			○			47.9	0.4	44.3	0.7	7-C

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,868	48.3	4-A	5-B	2
貴教育委員会	11	729	45.7	4-B	5-C	2

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	14	52.0	48.9
	図形	8	52.1	49.9
	変化と関係	6	36.1	34.8
	データの活用	4	46.5	42.1
評価の観点	知識・技能	18	50.5	46.7
	思考・判断・表現	14	45.6	44.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	19	49.1	47.6
	短答式	12	51.0	46.3
	記述式	1	1.0	0.4

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
3(1)	工夫して計算したときに使った計算のきまりを選ぶ	交換法則、分配法則について理解している	○				○						28.2	4.1	24.8	4.8	7-A
3(2)	場面にあった式として正しいものを選ぶ	日常の場面において、数量の関係に着目して式の意味を読み取ることができる	○				○						69.3	1.2	67.8	1.6	5-C
3(3)	乗法について、簡単に計算を行うための工夫を説明した文から、変形後の式を選ぶ	数量の関係に着目し、計算に関して成り立つ性質を用いて簡単に計算を行う方法を考えることができる	○				○						32.1	3.0	31.7	4.3	7-B
3(4)	除法について、除数、商、余りから被除数を求める	被除数、除数、商、余りの間の関係について理解している	○				○						32.0	17.6	26.5	22.8	7-C
3(5)	ボールの数と全体の重さの関係を、記号を用いた式で表す	数量の関係を記号を用いた式で表すことができる	○				○						43.0	2.6	43.6	3.3	6-B
4(1)	平面上の点の位置の表し方で適切に表す	ものの位置の表し方について理解している		○			○						65.6	4.5	59.7	7.0	5-C
4(2)	垂直な直線の組を選ぶ	直線の垂直の関係について理解している		○			○						58.9	1.6	55.7	1.8	6-B
4(3)	展開図を組み立てたときに、指定された面と平行になる面を選ぶ	展開図が立体になったときの面の位置関係をとらえることができる		○			○						75.4	1.5	71.1	1.6	5-C
4(4)	色違いの台形を敷き詰めたときに見つけることができる図形を選ぶ	図形の構成の仕方を考察して、その図の中に見られる図形の性質を見いだすことができる		○			○						53.3	1.6	60.5	2.3	6-C
5(1)	ある単位で表された面積を、異なる単位で表すときの正しい数を選ぶ	面積の単位について理解している	○				○						9.5	1.9	8.4	3.0	8-A

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,868	48.3	4-A	5-B	2
貴教育委員会	11	729	45.7	4-B	5-C	2

## 分類・区分別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	14	52.0	48.9
	図形	8	52.1	49.9
	変化と関係	6	36.1	34.8
	データの活用	4	46.5	42.1
評価の観点	知識・技能	18	50.5	46.7
	思考・判断・表現	14	45.6	44.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	19	49.1	47.6
	短答式	12	51.0	46.3
	記述式	1	1.0	0.4

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等			評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	
5(2)	円周上の点を結んで図形をつくるときに、つくることができない図形を選ぶ	図形を構成する要素や位置関係に着目して、図形の持つ性質を考えることができる	○				○		○			58.8	2.7	55.3	3.6	5-A
5(3)	長方形を組み合わせた図形の面積の求め方を示した図に対応する式を選ぶ	長方形を組み合わせた図形の面積の求め方について、いろいろな方法を考えることができる	○				○		○			65.3	2.4	63.8	3.4	5-A
5(4)	分度器を工夫して用いて、180°を超え角の大きさを求める	量の加法性に着目し、180°より大きい角を分度器を用いて測ることができる	○				○		○			29.9	3.6	24.8	4.4	7-C
6(1)	正三角形のタイルを貼ってできる図形について、タイルを貼る作業の回数と図形の周りの長さの関係を△と□の式で表す	式を用いて変化の関係をとらえることができる		○			○		○			31.4	5.5	28.8	7.4	7-B
6(2)	割合から値上げが大きいほうを選ぶ	割合に着目して比較する		○			○		○			37.8	2.6	42.4	2.7	6-A
6(3)	比例関係にある表からグラフを作るときに、グラフが通る点として正しいものを選ぶ	伴って変わる2つの数量の関係をグラフに表すことができる		○			○		○			32.9	6.1	30.9	7.5	7-B
7(1)	レンガでつくった花壇について、レンガの縦に並ぶ個数から全体のレンガの個数を求める。動画を使用	伴って変わる2つの数量の関係から数量を求めることができる		○			○		○			53.2	8.8	49.7	12.3	6-B
7(2)	複数のテープの関係をもとに、テープの長さを選ぶ	割合をもとに数を求めることができる		○			○		○			60.1	5.9	56.7	7.0	5-B
8(1)	表からある事柄に該当する数値を読み取る	二次元表の読み取り方を理解している				○	○		○			58.0	9.2	46.6	12.2	6-B

# 教科に関する調査 問題ごとの正答率等一覧表 [算数]

東松山市教育委員会

・レベルはそのレベルを、上からABC順に三分割しています。  
 ・学力の伸びは、レベルを数値に変えたうえで昨年度との差を計算しています。  
 (例) R7レベル11-A(33)－R6レベル9-B(26)=伸び(7)

## 集計結果

	学校数	児童生徒数	平均正答率	R6小4レベル(平均)	R7小5レベル(平均)	令和6年度からの同集団における学力の伸び(平均)
埼玉県	678	44,868	48.3	4-A	5-B	2
貴教育委員会	11	729	45.7	4-B	5-C	2

## 分類・区別集計結果

分類	区分	対象問題数(問)	平均正答率	
			埼玉県	貴教育委員会
教科の領域等	数と計算	14	52.0	48.9
	図形	8	52.1	49.9
	変化と関係	6	36.1	34.8
	データの活用	4	46.5	42.1
評価の観点	知識・技能	18	50.5	46.7
	思考・判断・表現	14	45.6	44.3
	主体的に学習に取り組む態度	0	-	-
問題形式	選択式	19	49.1	47.6
	短答式	12	51.0	46.3
	記述式	1	1.0	0.4

困難度レベルは、およそ70%の確率で正答する学力レベル(三分割)に対応しています。

## 問題別集計結果

問題番号	問題の概要	出題の趣旨	教科の領域等				評価の観点			問題形式			埼玉県		貴教育委員会		困難度レベル
			数と計算	図形	変化と関係	データの活用	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
8(2)	2つの折れ線グラフを対比して読む	2つの折れ線グラフを対比させ、グラフの特徴や傾向について考察することができる				○	○	○				68.5	8.1	68.0	9.6	5-B	
8(3)	主張に適合するグラフを選ぶ	データから特徴を読み取ることができる				○	○	○				26.0	10.6	23.6	12.5	8-C	
8(4)	折れ線グラフからもっとも増加が多い部分と増加量を答える	折れ線グラフから変化の特徴等を読み取ることができる				○	○		○			33.6	12.9	30.0	16.6	6-A	
9	2人が公園に向かうとき、遅れて出発した人が公園に着くまでに、先に出発した人に追いつくことができない理由を完成させる	具体的な事象を伴って変わる2つの量に関連付け、根拠を明確にして説明できる				○	○			○		1.0	36.8	0.4	42.8	8-A	